

「各大学などにおける大学改革の取組が一層推進されるよう、国公立大学を通じた競争的環境の下で、特色ある優れた取組を選定・支援する」（文部科学省）ことを目的としたプログラムへの平成19年度の挑戦である申請プログラムを掲載し、本学の教育に対する姿勢を明らかにしたい。申請プログラムは以下のカテゴリーにおいて申請された。

## 1. 課題に応じた教育内容・方法の高度化・豊富化

### 1) 特色ある大学支援プログラム（特色GP）

各大学・短期大学部が実施している大学教育の改善に資する取り組みを、さらに充実発展する特色ある優れた取組を選定・支援するとともに、広く社会に情報提供を実施。  
（平成19年度予算額：31億円）

特色GPについては、本プログラムが制定された15年から申請を行い、15年度に「多チャンネルを通じて培う地域社会との連携—地域社会で存在感のある大学を目指して—」、平成18年度に「キャリア教育をベースとした課程教育の展開」により短期大学部で2回採択されている。今年度は総合経営学部、短大部各1件申請している。

学部申請：ホスピタリティを軸とした先進的観光教育

—ホスピタリティ教育による観光とUDの融合—

申請代表者 総合経営学部観光ホスピタリティ学科 教授 佐藤博康

短大部申請：相互点検・評価活動が及ぼす教育への効果

—現代的課題克服に共同で挑戦する「教育改革」の新しい切り口を求めて—

申請者 松本大学松商短期大学部・教授 住吉廣行

## 2. 現代的課題に対応できる人材養成と大学の多様な機能の展開

### 1) 現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）

各種審議会からの提言等を踏まえ、社会的要請の強い政策課題に対応した大学・短期大学におけるすぐれた取組を選定・選定するとともに、広く社会に情報提供を実施。  
（平成19年度予算額：51億円）

現代GPは平成16年度に制定されたプログラムである。16年から毎年申請しているが、いまだ採択はされていない。今年度は総合経営学部2件、人間健康学部1件、短大部1件の合計4件申請している。

学部申請：全学生を対象とした総合キャリア教育の展開

—スキルアップサイクルを利用して基礎学力・専門性を高める総合キャリア教育の

実践— 申請者 総合経営学部観光ホスピタリティ学科 教授 林昌孝

地域と連携した実践的な環境教育の推進

申請代表者 総合経営学部観光ホスピタリティ学科 専任講師 中沢朋代

健康増進プログラムの展開と指導者の育成

ー地域の連携による実践的教育で学ぶ魅力ある指導法ー

申請者 人間健康学部スポーツ健康学科 准教授 根本賢一

短大部申請：高大・産学連携型実践的キャリア教育の展開

ー入学前教育から始まる地域連携型実践的総合キャリア教育の体系化の試みー

申請者 商学科 教授 糸井重夫

## 2) 新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム（学生支援G P）

各大学等が実施する、新たな社会的ニーズに対応した優れた総合的な学生支援の取組を支援。  
(平成19年度予算額：16億円)

平成19年度新規のプログラムである。総合経営学部1件、短大部1件、計2件申請している。

学部申請：学生参加型の大学づくりを通じた支援の試み

ーコミュニティ構成員としての自覚を基礎にー

申請代表者 総合経営学部総合経営学科 教授 白戸洋

短大部申請：学生参画による大学運営とFD活動の新展開

ーカスタマーからコラボレーターへの認識の転換を図り、協働で改善するー

申請者 松本大学松商短期大学部・教授 住吉廣行

## 3) 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム（社会人学び直しニーズ）

各大学等における教育研究資源を活用し、社会人の学び直しニーズに対応した教育プログラムを展開する優れた取組を支援。（平成19年度予算額：18億円）

平成19年度新規のプログラムである。総合経営学部2件、短大部1件、合計3件申請している。

学部申請：離・退職者の社会参加意欲と、博物館の人的整備とをつなぐ、学び直しプログラム

申請代表者 総合経営学部総合経営学科 教授 山根宏文

地域社会人向けホスピタリティ人材育成及びスキルアップのための支援プログラム

申請者 総合経営学部観光ホスピタリティ学科 教授 佐藤博康

短大部申請：出産・育児等による一時的離職者と契約・派遣社員に対する職業基礎能力向上プログラム

申請者 商学科 教授 糸井重夫